

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月26日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100765
法人名	有限会社 コンフィアンス
事業所名	グループホーム はらら (3F)
所在地	鹿児島県鹿児島市原良2丁目10番11号 (電話) 099-210-5524
自己評価作成日	平成29年3月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年5月26日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・中央駅からも近い為交通の便も良く、交通機関を利用するの面会等もでき安い環境にあります。近くにはスーパーや飲食店街、病院などがあり、ホーム内での生活は勿論、ご家族も毎日が安心して楽しく過ごせるような環境に恵まれております。

施設では開設当初から自立支援に向けた取り組みを行いながら、ご利用者様が住み慣れたご自宅での生活に近い環境づくりをしております。日々の生活の中では調理、掃除、買い物等を可能な限りご自分でできることは行って頂き、できる喜びを感じて頂きながら、家庭内の一員として過ごして頂けるように全職員がケアを実践しております。

また自立支援に向けて資質の向上を目指し、お一人おひとりの尊厳を大事にしなが、最期までその人らしい生活が送れるような支援を目指して、笑顔の絶えない毎日が送れるように努めております。常に全職員が老いとは何か?との想いを振り返り考えながらケアを行わなければならないと思っております。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	全職員で年に1回、理念の見直しを行っている。また、目に付く場所に提示し日々の介護で実践できるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	町内会に加入しており、地域の民生委員の方と連携をとっている。地域の行事等へも参加するように心掛けており地域とのつながりを大事にしている。近くには公園があり散歩コースになっている。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域サロンや行事等への参加の案内等もあり、参加するように心掛けている。また参加することで、認知症の方への理解を深める機会を作るようにしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族会会長や包括支援センター職員、民生委員の方々にも参加していただき、外部の方々の意見も積極的に全職員と共有し、サービス向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	困難な課題や疑問点については、市の担当者に相談を行い、課題解決に向けてご助言をいただく等し協力関係を築いている。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束廃止推進委員会を設置し、定期的に会議や勉強会を行い、全職員が身体拘束について理解し、身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。また、家族にも入居の際に事業所の方針を説明して理解を得ている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に委員会や勉強会、また外部への研修にも積極的に参加して、全スタッフが虐待について学ぶ機会を持つように努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	内部研修や外部研修にて、職員が学ぶ機会を設け、必要な場合に活用できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には充分時間をとり、家族や利用者の不安や疑問が解決できるよう十分な説明を心掛けている。また、質問しやすい雰囲気作りにも配慮しその都度対応をしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者やご家族から意見や要望等が出やすいよう、意見箱の設置（1階玄関）や雰囲気作りに努めている。また運営推進会議等で出された意見等は前向きに活かすことができるよう努めている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>「気づきシート」や日常に業務の中で交わした意見等を幹部で協議し代表者へ意見を挙げ運営に活かせるようにしている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>代表者は、職員個々の勤務状況や努力、実績等の報告を受け、職員処遇への反映を行い、向上心を持って働けるような配置や対応を行うように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修計画を立て定期的に内部の勉強会を行ったり、個々の力量を把握した上で外部への研修参加をする機会を設けている。参加においては有給の活用や必要時には研修費をサポートしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>代表者は、GH協議会や地域交流会への参加等を通して、職員が同業者と交流する機会を促し、サービスの向上につなげていくことができるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人、ご家族からこれまでの生活状態、心身の状況、本人の想い等を聞き取り、またこれまでの関係機関からの情報を収集し、職員が変わっても利用者が安心できるようにケアを行っている。本人の困り事、不安なこと、要望等を傾聴し、安心して本人が望む生活ができる環境作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会時に積極的に関わり、家族の思い・要望を理解し、利用者の日々の生活を安心して提供できるように協力しながら支援を行っている。また責任者から生活の様子を報告することでホームとの関係作りを行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービス利用開始時は、十分な情報収集を行った上でプランを作成している。初期の見直しは1ヶ月とし、状況に応じた期間で臨機応変に対応を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と利用者が一緒になって、本人の能力に合わせて掃除や洗濯、簡単な調理等を行う中で、共に暮らす関係を築いていけるよう努めている。本人の得意分野を活かすことで一緒に喜び合える関係を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	便りで日常生活（レクや行事）等の案内や、面会時には近況報告を行うことで本人と家族の関係を身近なものにしながら共に考え支えていく関係を築くことができている。外出や外泊も勧めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	入居の際、これまで使用していた馴染みの家具を持ってきて頂き、落ち着いて過ごせる空間や生活環境を整えている。また、親戚や知人の面会が気兼ねなくできるよう雰囲気づくりに努めている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、相性もみながらレクへの参加時には配慮を行い、職員も会話に交わり孤立せず、利用者同士が助け合っているような関係づくりに努めている。また、必要時には、席替えや居室の移動も行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	事情により住み替えが必要となった場合は、移り住む先の関係者に対して、利用者の情報を出来る限り詳細に伝え、ダメージを最小限に抑えるよう配慮している。ご家族から要望がある際には支援を行いながら関係が途切れないうに努めることができている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者と日々関わり、会話や表情から個々の気持ちを尊重して支援を行っている。また、希望や意向の把握が難しい方に対してはご家族からの情報や思いを聞きながら支援するよう取り組んでいる。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の情報や、本人・ご家族から情報収集を行い、生活歴や馴染みの暮らし方を把握し、関係作りを行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	いつもと違う行動や気づきを介護記録等に残すことで情報を共有し、共有した情報をもとに毎日や毎月カンファレンスを行うことで利用者一人ひとりの現状を把握することができている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	定期的なカンファレンスや、担当職員によるモニタリング等を通して、意見を出し合い検討している。また、主治医や訪問看護師、訪問リハビリの先生方からも情報を収集し、介護計画に反映している。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子や日常生活での変化、介護計画に対しての変化等を介護記録に残すことで職員間での情報共有ができ、日々のカンファレンスにて評価する事で介護計画の見直しにも活かすことができている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族からの要望や希望の相談等があった場合にはその時の状況に応じた柔軟な支援ができるようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>近隣の様々な地域資源の把握に努め、包括支援センターや警察、消防署、理美容院、病院、スーパー、飲食店等の協力を得ながら利用者の豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前のかかりつけ医を引き続き利用ができることで安心して医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の変更の場合には本人、家族と話し合いの上、十分な医療が受けられる（必要時には専門医）対応を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>医療連携を取っている訪問看護師へは記録や電話連絡で相談、報告を行い連携をとっている。また主治医とも常に連絡、相談し利用者が適切な受診が行えるように連携が図れている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>利用者が入院された際には、病院の連携室や看護師、主治医と連携し、相談や情報交換を密に行い、早期退院に向けての支援を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居契約の際、本人やご家族に対してホームの方針「重度化した場合における対応および看取りに関する指針」を説明し、お互いの方針の共有を図っている。また、必要な時にはその都度ご家族や主治医との話し合いを行い、現状における可能な支援の見極めを行い、ご家族や医療関係者との連携を図りながらチームでの支援を行っている。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>定期的な内部研修や訪問看護師を交えての勉強会、また外部への研修会にも積極的に参加できる機会を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署の協力のもと、夜間想定を含めた消防訓練を定期的に行い、全職員が災害時の避難誘導への対応ができるように努めている。また近隣の民生委員さんを中心に、地域住民の方々の協力を得ている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は接遇等の外部での研修への積極的に参加できるようにしている。利用者の人権を損ねない言葉かけや対応を心掛けている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日課を優先せず、日々の暮らしの中でその時々本人の希望を引き出し、希望に添えるよう声かけや雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の一日の過ごし方を知り、本人のペースに合わせ、業務優先にならないよう職員間で話し合い支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	本人の状況に応じて、その人らしい身だしなみの支援ができるよう努めている。また、ご家族の協力のもと、化粧品の購入や美容院にも出掛けたり、訪問で身だしなみができるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の状況を考慮しながら一緒に買い物に出掛けられるよう機会を作ったり、定期的に外食やデリバリーを行うことで、献立がマンネリ化しないような工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの健康状態を把握し、塩分や体重制限等がある方には主食や副食の量を考えたり、薄味になるように献立に注意を払っている。また水分は多めに摂れるようにお茶だけでなくコーヒーやジュース等をお出ししている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時と毎食後に口腔ケアを行い、夜間は毎晩義歯洗浄を行っている。口腔内に異常がある時は、その都度歯科医師に診てもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の利用者の状態に合わせた排泄の支援（布パンツやリハパンの活用）を行い、なるべくトイレで排泄ができるように支援している。また夜間は自室にポータブルトイレを置き排泄がしやすい環境づくりをしている。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防の為、水分補給や適度な運動、献立の工夫を行うように努めている。排便困難な利用者には排泄チェック表を活用し排便パターンを把握した上で主治医へ相談しながら内服コントロールをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	おおよそ週3回程度の入浴を行っているが、個々の体調や希望に合わせて、時間や曜日を調整している。またその方にあつた入浴介助を行う支援をしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えることで、休息や安眠の確保ができるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者の内服説明書を事務所に常備し、全職員がいつでも確認できるようにしている。内服カレンダーの活用や一日の内服時間毎にケースで振り分けして内服支援をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干し、たたみや居室内の掃除をできる方には一緒に行い生きがいもてる生活作りを行っている。また、外食や、臨床美術等気分転換や楽しみごとの支援も毎月の計画に取り入れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	一人ひとりの体調を見ながら買い物や外出（ドライブ）等の計画をして地域の方々との触れ合えるような環境づくりを行っている。また家族の協力も貰いながら外出の支援をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族の理解を得て個々で預り金をして必要な物品（体調に合わせて一緒に出掛けて）が購入できるようにしている。また状態に合わせて本人所持のお金も持てるようにしている。その際の管理方法については家族へ説明をしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>本人や家族から希望があった場合には携帯電話の所持や使用を支援している。また希望に応じて電話や手紙のやり取りが遠慮なくできるように支援を行っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所には仕切りがなく、利用者がいつでも調理を見たり、音や匂いを感じたりすることで、自宅と同じような雰囲気でも過ごすことができる。また、室温・湿度・清潔に気を付け、皆が居心地良く過ごせる環境づくりに心掛けている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースには、ソファや椅子を置き、その時々で過ごすよう配慮している。また、状況に合わせて、家具の配置換えも行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご家族と相談しながら、個々の利用者の馴染みの物を持参して頂き、居心地の良い生活ができるように支援している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの残存能力を把握した上で、無理のない活動ができるように環境や物品配置を工夫している。またできる限り安全かつ自立した生活が送れるように支援している。</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない